



# 大門小だより

7月号

大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子

令和2年6月26日  
横浜市立大門小学校



## マスクの中の表情は？

校長 能登 正明

今年も暑い夏がやってきました。3月、4月、5月が臨時休業だったため、今年は学校での「春」がありませんでした。学校が再開し、やっと春に行く予定だったアサガオの種まきやツルレイシの苗植えができました。また、大門小学校自慢の農園では、地域の皆様のご協力をいただいて、休業期間中に畑の土を耕し畝を整え、野菜の種や苗を植えることができました。

学校が再開されてひと月がたちましたが、学校での子どもたちや教職員はみんなマスク姿です。朝や帰り、正門で挨拶してくれる子どもたちの顔も上半分しか見えません。マスクの中の子どもたちの表情はどうなっているのでしょうか。



昨今のAIによる画像認識技術の発展は目覚ましく、個人の顔の認識だけでなく、その表情を読み取り感情までもが認識できるそうです。AIは、人間の目や眉、口などがどのような状態になっているかを識別し、例えば「口が大きく横に開いている・歯が見えている」ならば「笑っている」、「口が横に大きく開いているが、閉じていて両端が少し下がっている」ならば「悲しんでいる」といったように感情を認識するそうです。

でも、マスクで顔の下半分が見えない場合はどうでしょうか。スマホを使う時、私の使っている機種だと、マスクをしていると顔での認証ができません。やはり顔が全部見えないと、個人認証や表情の読み取りは難しいのかもしれない。

一方で、昔から「目は口ほどにものをいう」と言われています。「目」だけから、人の気持ちは読み取れるのでしょうか。朝や帰りに、できるだけ子どもたちの目を見ながら、マスクの中でどんな表情をしているのだろう、と想像しながら挨拶していますが、なかなか難しいものです。反対に、こちらの気持ちも「目」から伝わっているのでしょうか？

(ちなみに、暑い日の登下校中は熱中症予防のためマスクを外すことも可能ですので、無理のないようにしましょう。)

7月からはいよいよ給食も始まります。季節は梅雨明けから夏本番へと移り変わっていきますが、新型コロナウイルスだけでなく、熱中症などへの備えも必要な季節です。引き続き健康や衛生面に留意しながら、子どもたちが充実した学校生活を送れるように努めてまいりますので、ご理解ご協力をよろしく願います。

# 6月の教育活動の様子



## 学校再開 第一期 6月1日(月) 2日(火)

いよいよ学校が段階的に再開されました。A・Bグループが交互に登校する、分散登校による再開です。この日に向けて、学校では子どもたちを迎えるための準備をしてきました。また、安全に、安心して登校できるように、いろいろと検討してきました。

久しぶりに学校に登校して来た子どもたちは、緊張しながらも、友達や先生と顔を合わせることができて、うれしそうでした。



## 学校再開 第二期 6月15日(月) ~

二週間の分散登校で、新しいクラスでの生活や友達との関わりにも慣れてきました。そして、いよいよ第二期が始まり、全校児童が登校することになりました。学級のみんがそろって、改めて自己紹介をしたり、学習に楽しく取り組んだりしていました。学校に活気が戻り始めました。



## 健康・安全・安心のできる生活のために

学校再開後、健康で安全に学校生活を送れるように、生活の仕方について、子どもたちは学習しました。また、消毒や手洗い、マスクの着用の徹底を行っています。心のケアや仲間づくり、ソーシャルディスタンスなどを意識した授業の工夫など行っています。これからも、健康・安全・安心な学校を目指します。



## 児童支援専任から



全校児童が揃っての登校が始まりました。久しぶりに友達と出会い、楽しそうに過ごす姿が見られ、とてもうれしく思います。いろいろな制限がある中ですが子どもたちが安全・安心して過ごせるよう、教職員一同協力して見守っていきます。

今年度も全校ではさみの一括管理を始めました。本校では、カッターやのこぎりなどの道具はかぎのかかるところで保管しています。また、彫刻刀や裁縫道具を持ってきた際にも使用しない時間は担任や担当教諭が預かることにしています。忘れたり無くしたりすることを防止することや、安全管理を目的としています。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いします。

